

困ります！ ごみ出しはルールを守って 指定の紙袋以外は収集しません。

長門市は、昭和61年4月から、ごみは「指定の紙袋」に入れて出してください方法になっています。

しかし、最近、広報の取材途中に市民から「ごみの集荷場所にビニール袋に入れられたごみが収集されないまま残されている。『残った袋の中の生ごみが腐敗して悪臭がする。』『収集のときビニール袋もついでに持っていけば良いのに。』などの苦情を聞きました。

早速、環境衛生係で話を聞いたところ、委託業者には指定の紙袋以外のものを出されたごみは収集しないよう指示してある。その理由は、指定の紙袋以外のものも収集すると以前と同じになって指定の紙袋収集という制度が崩壊してしまう。と説明がありました。

環境衛生係では、毎日、その日の収集地区を巡回して収集されず残っている袋に、指定の紙袋に入れて出してくださいように、お願いの紙をはりつけています。これでもま



この日は
不燃物収集の日では
ありません。
指定の袋は
二つだけ…。



木の枝は小さく切って。
不燃物は別の日に！



◀ 整然と出されたごみ袋

▼ 乱雑に出されたごみ袋



ビニール袋、
缶、ダンボール箱
の中に指定の袋が
一つ、二つ…。



今回は、仙崎市街、駅前、湊、正明市、上川西地区を回りました。ごみ収集の開始は朝6時30分からです。収集車は音量をしばってみず、の童謡をながしています。8時すぎまでは睡眠を妨げないようにとの気配りです。

大部分の集荷場所では、指定の紙袋で整然と出され、収集作業も順調に進みます。

また、収集車が移動したあと付近を掃除する人を見かけました。なかでも、ビニール袋で出されたごみを指定の袋に入れ替えておられた区長さんや集荷場所付近の婦人さんがおられ感心しました。

これとは反対に、指定の袋には入れない、不燃物も可燃物も、ビニール袋も手さげ袋も、収集日も関係なく、自分の都合だけでごみを出している人の多いのにも驚きました。

小単位の家庭で構成された集荷場所は整然としています。が、たくさんのお家庭が対象の集荷場所は悪いようでした。

誰が出したか分からない、という気持ちから、乱雑になるのでしょうか、ルールは守ってほしいものです。